

# **令和4年度 県政モニターアンケート調査**

**テーマ：福岡県内の世界遺産について**

**福岡県人づくり・県民生活部文化振興課**

**九州国立博物館・世界遺産室**

# 1 調査の目的

世界遺産とは、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(世界遺産条約)」に基づき、顕著な普遍的価値を有するものとして、世界遺産リストに記載された遺産である。「文化遺産」「自然遺産」、両方を兼ね備えた「複合遺産」の3種類から成り、国や民族をこえて人類が共有するべき遺産とされている。

福岡県内には、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(平成 27 年 7 月登録)と『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(平成 29 年 7 月登録)の2つの世界文化遺産がある。

本アンケートは、福岡県内に所在する世界遺産の認知度を把握するとともに、世界遺産としての価値発信の在り方等について今後の事業の参考とする。

# 2 調査期間

令和4年8月24日～9月9日(第2回)

# 3 回答者の構成

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(人)	構成比				
総数	人数	365	84	187	55	39
	構成比		23.0%	51.2%	15.1%	10.7%
性別	女性	226	48	115	38	25
	男性	139	36	72	17	14
	その他	0	0	0	0	0
年代別	20代以下	67	13	34	8	12
	30代	71	16	39	9	7
	40代	78	18	40	15	5
	50代	59	14	28	10	7
	60代	60	14	29	10	7
	70代以上	30	8.2%	9	17	3

モニター数 400人  
回答数 365人  
回答率 91.25%

## 【回答結果の注意点】

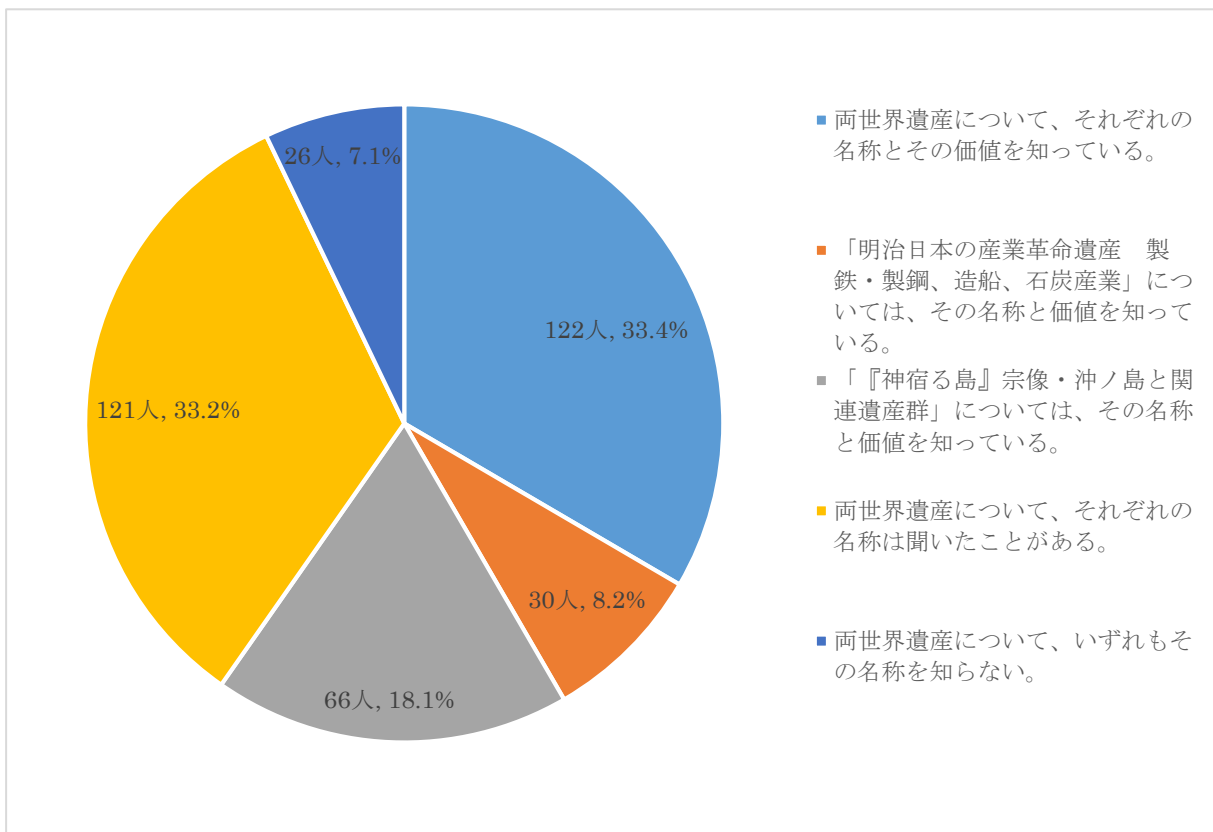
- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答(複数回答)を要する設問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。

## 4 回答結果

問1 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」についてそれぞれの名称とその価値について知っていますか。  
次の中から【1つ】選んでください。

(回答数 365)

1 両世界遺産について、それぞれの名称とその価値を知っている。	122人	33.4%
2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」については、その名称と価値を知っている。	30人	8.2%
3 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」については、その名称と価値を知っている。	66人	18.1%
4 両世界遺産について、それぞれの名称は聞いたことがある。	121人	33.2%
5 両世界遺産について、いずれもその名称を知らない。	26人	7.1%



### 【問1の調査結果より】

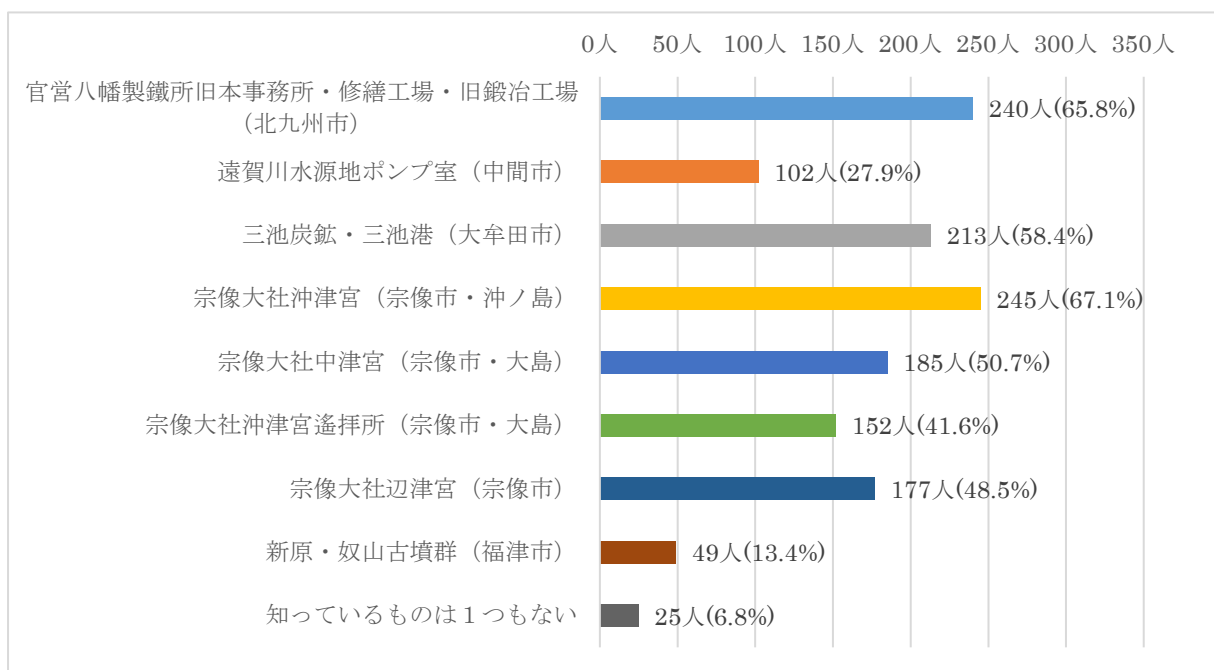
- ・「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の方が世界遺産登録は早かったが、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」に比べ認知度が低い。
- ・約3割の県民が「両世界遺産について、それぞれの名称は聞いたことがある」ととどまっているため、名称だけでなく、世界遺産価値・魅力も合わせて知ってもらえるよう引き続き取り組んでいく必要がある。

問2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について知っている構成資産はありますか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答数 365複数回答)

1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	240人	65.8%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	102人	27.9%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	213人	58.4%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	245人	67.1%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	185人	50.7%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	152人	41.6%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	177人	48.5%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	49人	13.4%
9 知っているものは1つもない	25人	6.8%



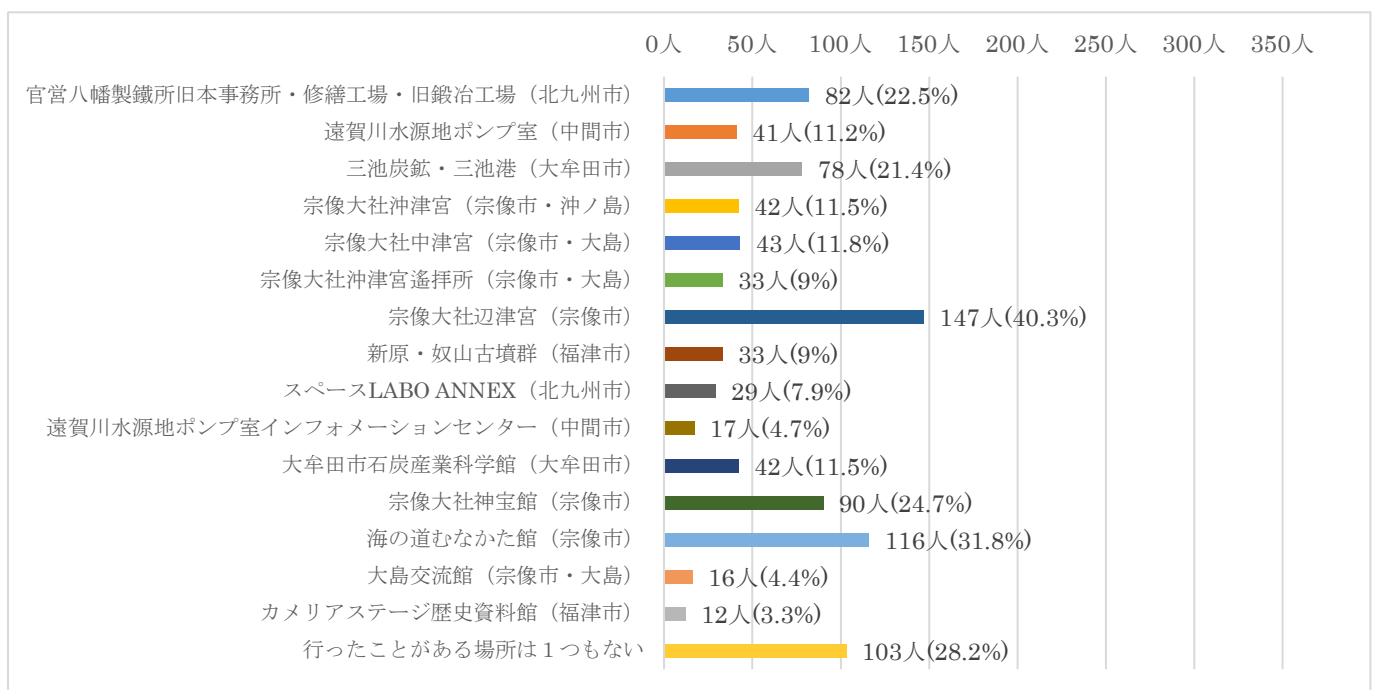
【問2の調査結果より】

- ・「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」について、同じ八幡エリア内でも認知度の差がある。
- ・「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について、宗像市の構成資産に比べ福津市の構成資産の認知度が低い。

問3 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の構成資産や関連する展示施設のうち、行ったことがある場所はどこですか。  
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答数 365複数回答)

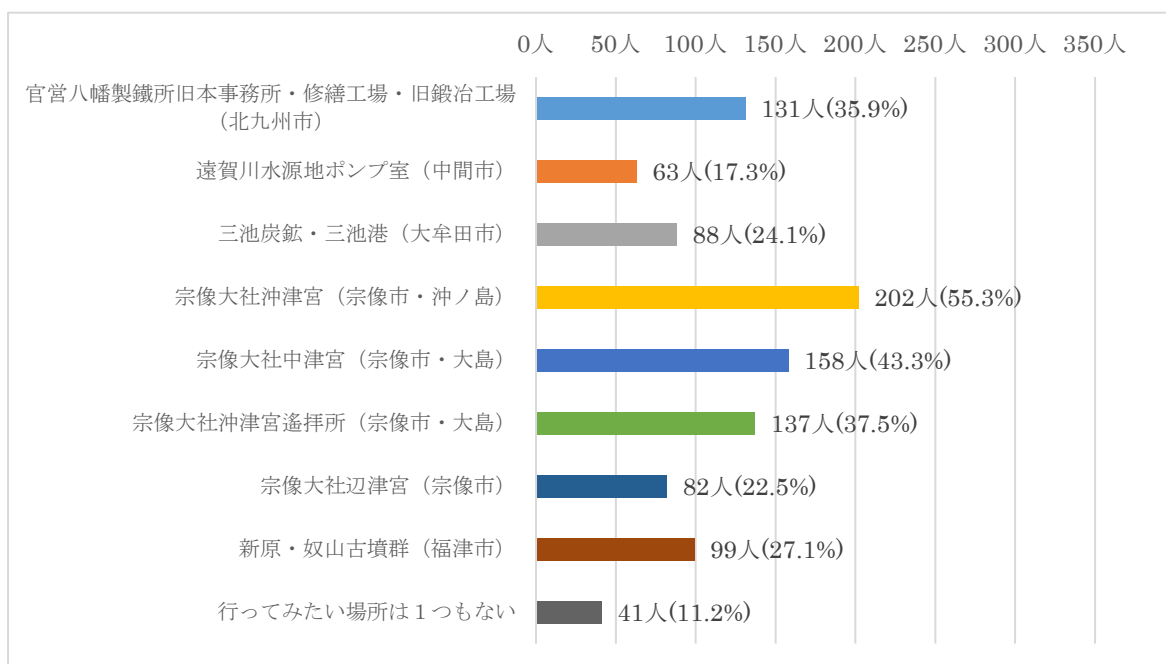
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	82人	22.5%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	41人	11.2%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	78人	21.4%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	42人	11.5%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	43人	11.8%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	33人	9.0%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	147人	40.3%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	33人	9.0%
9 スペース LABO ANNEX(北九州市)	29人	7.9%
10 遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター(中間市)	17人	4.7%
11 大牟田市石炭産業科学館(大牟田市)	42人	11.5%
12 宗像大社神宝館(宗像市)	90人	24.7%
13 海の道むなかた館(宗像市)	116人	31.8%
14 大島交流館(宗像市・大島)	16人	4.4%
15 カメリアステージ歴史資料館(福津市)	12人	3.3%
16 行ったことがある場所は1つもない	103人	28.2%



問4 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産のうち、今後行ってみたい場所はありますか。次の中から最も当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答数 365人複数回答)

1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	131人	35.9%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	63人	17.3%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	88人	24.1%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	202人	55.3%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	158人	43.3%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	137人	37.5%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	82人	22.5%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	99人	27.1%
9 行ってみたい場所は1つもない	41人	11.2%



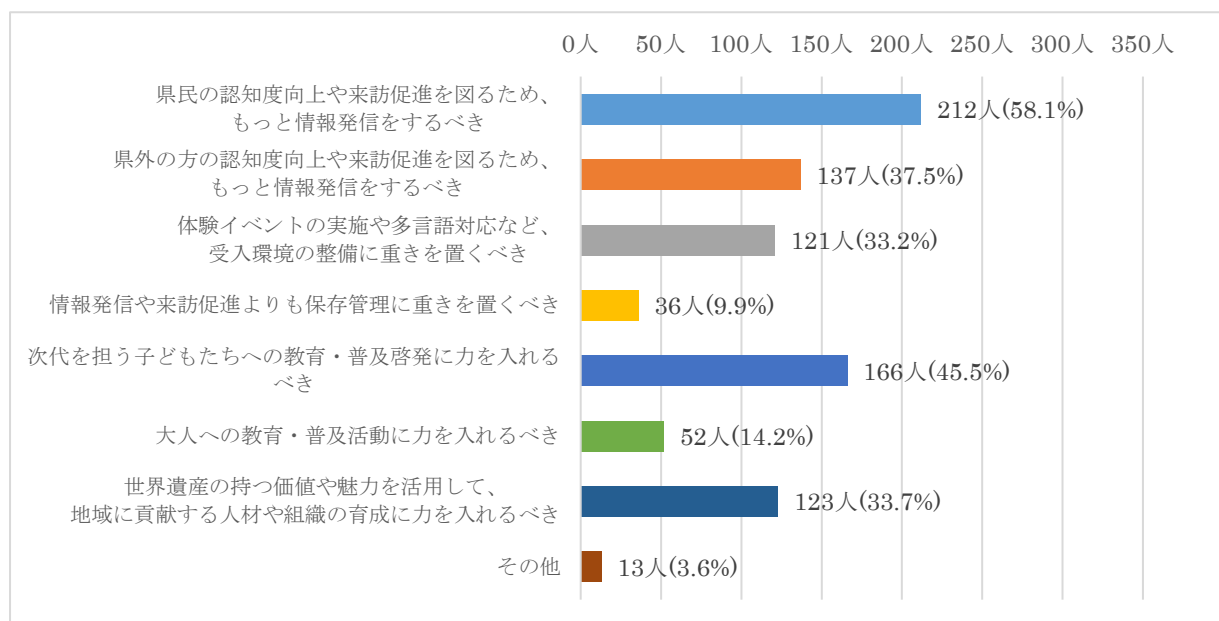
【問3、問4の調査結果より】

- ・構成資産や関連する展示施設に1つも行ったことがない人(28.2%)、1つも行ってみたい場所がない人(11.2%)が一定数おり、世界遺産価値の魅力・情報発信による来訪促進を図る取組が必要。
- ・宗像大社中津宮や沖津宮遙拝所(宗像市・大島)など、行ったことがある人は少ないが、行ってみたい人は多く、潜在的なニーズがうかがえる。
- ・行ったことがある展示施設と行ったことがない展示施設の差が大きいことから、展示施設の認知度の差や展示施設を活用したイベントの有無なども関連していることがうかがえるため、構成資産だけでなく関連施設も一体となった取組が必要である。

問5 福岡県内の世界遺産について、優先的に取り組んでほしいことは何ですか。  
次の中から最も当てはまるものを【3つ以内】選んでください。

(回答数 365人複数回答)

1 県民の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	212人	58.1%
2 県外の方の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	137人	37.5%
3 体験イベントの実施や多言語対応など、受入環境の整備に重きを置くべき	121人	33.2%
4 情報発信や来訪促進よりも保存管理に重きを置くべき	36人	9.9%
5 次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき	166人	45.5%
6 大人への教育・普及活動に力を入れるべき	52人	14.2%
7 世界遺産の持つ価値や魅力を活用して、地域に貢献する人材や組織の育成に力を入れるべき	123人	33.7%
8 その他	13人	3.6%



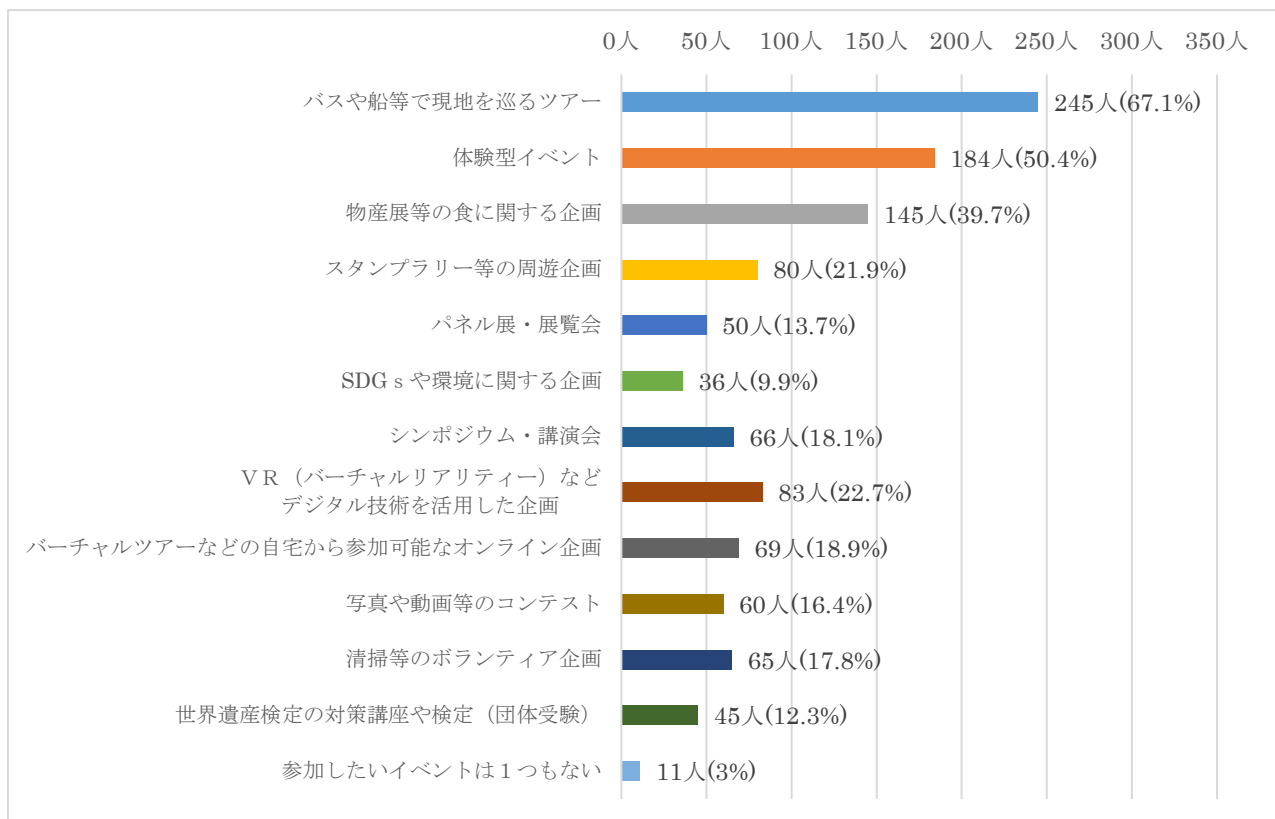
【問5の調査結果より】

- ・「認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき」と考える人が多いことから、引き続き来訪促進のための情報発信を県内外にすることが求められている。
- ・「次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき」が約半数(45.5%)であることから、子どものうちから世界遺産に触れる機会を作ることで、認知度向上や来訪促進につなげる取組が求められている。
- ・受入環境の整備とともに、地域に貢献する人材や組織の育成にも関心が高いことから、世界遺産がある地元も巻き込んだ来訪促進事業や情報発信の取組が必要であると言える。

問6 今後世界遺産に関するイベント等が開催されたら参加したいものはありますか。  
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答数 365人複数回答)

1 バスや船等で現地を巡るツアー	245人	67.1%
2 体験型イベント	184人	50.4%
3 物産展等の食に関する企画	145人	39.7%
4 スタンプラリー等の周遊企画	80人	21.9%
5 パネル展・展覧会	50人	13.7%
6 SDGsや環境に関する企画	36人	9.9%
7 シンポジウム・講演会	66人	18.1%
8 VR(バーチャルリアリティ)などデジタル技術を活用した企画	83人	22.7%
9 バーチャルツアーなどの自宅から参加可能なオンライン企画	69人	18.9%
10 写真や動画等のコンテスト	60人	16.4%
11 清掃等のボランティア企画	65人	17.8%
12 世界遺産検定の対策講座や検定(団体受験)	45人	12.3%
13 参加したいイベントは1つもない	11人	3.0%



【問6の調査結果より】

・ツアーや体験型イベントなど、世界遺産を身近・間近に感じられるイベントが求められている。また、食に関する企画への関心も高いことから、県内特産品等と組み合わせたイベントも効果的と思われる。

・パネル展・展覧会、シンポジウム・講演会など、世界遺産について詳細に学ぶことのできる、学術的なイベントも継続していくことが効果的であると考えられる。



問7 福岡県の世界遺産について、これまでの設問以外意見がありますか。  
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【一部抜粋(回答数 114)】

まずは情報発信、キャンペーン等を計画実行し県内外より各地に赴いてもらいその価値を知ってもらう事が大切だと思う。そのためには地元の方にガイド役を担ってもらうなどサポートしてもらうことも必要であろう。観光で得た収入も遺産保護の原資にすべきである。また、世界遺産サポーターを県内外より募り寄付のお願いやボランティアに遺産保護活動、SNS 等での情報発信をお願いしてはどうだろうか？
世界遺産＝観光地と考え、国内外から多くの方を迎えたいと考えるのは一般的だが、「貴重な文化遺産」を保護し、未来永劫、知らしめていくことが重要と思う。その際に、定期的な情報発信を続けて、世界遺産が有る事をアピールし続けることが肝要ですね。
情報発信と同じくアクセスの強化にも力を入れて頂きたい、と感じています。
県として遺産巡りツアーを積極的に取り組んだほうが良いと思います。
世界遺産があるのに県民の認知度が低いように感じます。沖ノ島に上陸できないこともあり、難しいところですが遠くからでも見学できるような展望台などを設置してほしい。
八幡は観に行ける場所が無さすぎるのももう少し見学できるところが欲しい
体験型イベントはたいてい子供向けなので、大人でも参加できる、むしろ大人向けの体験型イベントを作ってみてほしい。
普段見れないところを解放し、県民のみの特別ツアーなど特別感のある施策は興味あります。
シンポジウムがあったとしても、興味がある人しか来ない気がする。普段関心がない人でも興味をもてるような取り組みがあると良い。
宗像市に在住していますが、市の広報等では頻繁に世界遺産のお知らせもあり、市内の小中学校ではさまざまな世界遺産についての教育がなされていて、とても良いと思います。社会科見学のような形で取り入れているようですが、このような取り組みを、県全体で行われたらいいなと思います。
宗像大社はたまに参拝に参りますが、昔ながらの神事があるのであれば見てみたい。もし体験出来たり、ガイドさんと回れるツアー等があるなら参加してみたいです。
参加型のイベントも大事ですが、何気なく参加できるように zoom などでの交流も積極的に行っていたら嬉しいです。
県外、とくに九州外への広報 PR 活動とインバウンド誘致活動
小中学校で福岡県内の世界遺産について専門家を呼ぶなりして教育したらよいと思います。

宗像・沖ノ島・関連遺産群の PR にプリンセス神楽という新星アイドルが一生懸命活動していることをフリーペーパーむなふで知りました。ゆるキャラやご当地グッズのように愛されるご当地アイドル、アピールキャラクターの TV 出演や後方支援が後に全国や世界の人々の知名度を上げることに繋がり、福岡県の世界遺産への関心 UP にも良き方向に進むと感じています。

世界遺産はなった時がピークではないと思います。その存在価値を共有してさらに後世に残す、できればもっと価値を高めて残すようにしなくてはならないと思います。そのためには、県内・県外を問わずその存在意義を広く広報して認知度をあげること、そして実際に訪ねてみたくなった人たちがさらに新しい情報を得られる施設と滞在できる施設を充実させることが必要だと思います。前者で言えば、イギリスのストーンヘンジのような施設です。後者は、例えば昔ながらの海水浴場周辺の宿泊施設をユースホテルにするとかです。

県外出身者で福岡に世界遺産があることを存じてませんでした。移住者が多いと思うので、福岡のローカル番組で紹介などされると認知度が上がるのかな？とおもいました。番組を希望するのは、私自身も独身の頃は失礼ながら広報を読んだことがなくどうしても若い方に伝わりにくいのかな？と感じたからです。

福岡県内の世界遺産について興味はあってもなかなか行くきっかけがなく足を運んでいないという人も多いと思うので、スタンプラリーで特産品がもらえる企画を実施するなどして、まずは福岡県民に世界遺産の価値を伝えていく必要があると思う。

沖ノ島遊覧船ツアーは回数を増やしてもいいと思える。

宗像大社に行こうとした際、コロナ禍のためか、天神からのバスがなくなっており、アクセスが悪く断念したことがあった。リピートしたくなるような場所であるため、夏休みや連休などだけでも天神や博多から行きやすいバスを出したり、宗像駅宗像大社間のバスを増やしたりしてほしい。

また、宗像市のコミュニティバスを近隣住民以外が使って良いものなのかわからず、公共交通手段として使って良いか迷ったため、宗像大社に行く際に使って良いものか記載しておいていただけたらありがたい。車がなくても行ける場所とすることが、若者が行ける観光地となり、拡散され、リピートされる場所となるために必要だと思う。

この2つの世界遺産では、宗像遺産はある程度認知度があると思います。一方、産業革命遺産は、地味なせいか認知度が低いです。ここは、他の地域の産業革命遺産と連携してアピールする方が良いと思います。(たとえば、邪道かもしれませんが スタンプラリーとか) また、歴史価値の観点から、幕末・明治維新の歴史とリンクしてアピールしてみるのもよいかと思います。

世界遺産がある地域だけ盛り上がるのではなく、福岡県全体での盛り上がりを期待したい。

世界遺産の価値を恒常的に伝えていくために、周年(登録 10 周年等)のタイミングでの啓蒙、イベント実施、旅行商品の造成など様々な手段で情報発信していく姿勢が必要だと思います。

いまはまだ大衆向けではないが、いずれはメタバースで福岡の魅力を感じられるような仮想空間(クオリティの高いもの希望)ができれば楽しいと思う

<p>自宅から参加可能なオンライン企画があれば、ぜひ参加したいと思います。</p>
<p>小さな子どものうちから、世界遺産と地域の関係に興味を持ってほしい。どのような価値があるかを理解できる様な体験型のイベントを期待します。</p>
<p>認定された遺産で固定的になるのではなく、進化・増加していくような動きが欲しい。</p>
<p>アーティストを呼んで世界遺産で live を開いてもらうとか、チームラボとコラボするとか、文化的かつ若者受けする人たちとタッグを組んで周知を促すのが良いと思います。</p>
<p>大牟田市石炭産業科学館には良く訪れます。ただし、福岡市や北九州市や筑豊からみても、大牟田市は遠いので当該科学館の出張所を設けたりや出前サービスのような形式で、石炭についての実験や講座を各地で行って欲しいです。</p>
<p>私は高齢で、歩くのにも難儀しておりますので、実際に訪問する事は難しいかもしれませんが、テレビやインターネットでの動画で、こうした施設をゆっくり見学したいです。そのような取り組みも希望します</p>
<p>遺産の保存内容やこれから保存していくための問題点を明らかにしてほしい</p>
<p>宗像を除き、他は大変地味だと思います。せっかく足を運んでも近辺情報も少ないので、食事を含めてモデルコースの提案などあればいいなと思います。</p>
<p>世界遺産へは行ってみたいとは思うもののコロナの事もあり、人の密集が心配なので感染対策の情報や参加者の感想等を発信して安全面をアピールしたらいいかと思います。</p>
<p>三池炭鉱について。もう少し分かりやすいパンフレットを作成して欲しい。炭鉱跡地を時系列に紹介してもらえると、歴史的背景が頭に入りやすい。何処から巡れば効率が良いかも、合わせて紹介して欲しい。</p>

【問7の調査結果より】

- ・「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」ともに、実際に訪れることが出来ない(又はアクセスが不便な)構成資産が含まれていることが、県民にとって世界遺産が身近に感じられない理由の一因である。
- ・県内には2つも世界遺産があることを、県内外問わず広く発信していくことが求められており、ツアーや体験型イベントなど、世界遺産価値・魅力を効果的に訴求できる取組が必要である。
- ・自宅から参加可能なオンライン企画やメタバースを活用した事業など、最新技術の積極的な運用も求められている。
- ・子どものうちから世界遺産について学ぶことのできる教育機会を創出し、県内に2つも世界遺産があることに誇りを持ってもらえるような取組が求められている。